



## 新年のごあいさつ

福井県知事 杉本 達治

公益社団法人福井県栄養士会の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日ごろから、保健・医療・福祉・教育等それぞれの職場で、専門の知識と技術を生かし、「食」を通じた県民の健康づくりに御尽力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の「感染拡大防止」と「経済再生」の両立に向けた対策に全力で取り組んでまいりました。皆様の御協力に感謝申し上げますとともに、引き続き、県民一丸となってこの危機を乗り越えていきます。

さて、昨年 7 月には延 5 千人を超える県民の参画により「福井県長期ビジョン」を策定しました。

皆様とともにつくり上げたこのビジョンを道しるべとして、「『安心のふくい』を未来につなぎ、もっと挑戦！もっとおもしろく！」をテーマに、県民一人ひとりが自分らしくチャレンジできる「誰もが主役のふくい」を実現していきたいと思っております。

新しい年は、長期ビジョンに掲げた政策を着実に実行していく年です。

人生 100 年時代に向けて、誰もが生涯元気に活躍できる社会の実現に向けて、これまでのメタボ対策、フレイル対策に加え、若い時期から丈夫な骨づくりをするための食事を「ふくい 100 彩(さい)ごはん」として、家庭食に普及していく取り組みを進めていきますので、福井県栄養士会の皆様には引き続き事業への御支援・御協力をお願い申し上げます。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う甚大な影響は、多方面に波及し、日々の予防・健康づくりの重要性が再認識されました。今後「新しい生活様式」を進める上で、運動不足や過食などの健康課題に対する環境整備を進めるとともに食生活を向上させるための有用な情報発信を行って参りますので、皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、管理栄養士・栄養士の皆様の更なる御活躍を御期待申し上げますとともに、公益社団法人福井県栄養士会のますますの御発展を祈念いたしまして御挨拶とさせていただきます。

## 令和2年度厚生労働大臣表彰・公益社団法人日本栄養士会会長表彰

### 厚生労働大臣表彰

- ★**栄養改善事業功労者** (敬称略)  
・・・天野 美鶴 (福井厚生病院)
- ★**栄養指導業務功労者**  
・・・倉内 真由美 (笠原病院)
- ★**特定給食施設**  
・・・杉田玄白記念公立小浜病院

### 公益社団法人 日本栄養士会会長表彰

- 池田 涼子・・・(仁愛大学) (敬称略) (五十音順)  
内田 まり子・・・(春江坂井学校給食センター)  
大塚 万愉実・・・(ケアハウスアーバン・ヴィラロータス)  
酒井 陽子・・・(白梅学園)  
佐々木真由美・・・(二州健康福祉センター)  
竹村 麻恵・・・(白薬荘)  
松田 圭子・・・(ヴィラ岩井)  
山田 友香・・・(福井勝山総合病院)

### 受賞おめでとうございます

受彰者の皆様からのメッセージです。



この度、栄養改善事業功労受賞にあたり、清水名誉会長・北山会長をはじめ、諸先輩方の御指導の結果と深く感謝申し上げます。これからも、福井県民の栄養改善が推進できるように、微力ながら尽力して参りたいと思います。  
天野 美鶴



この度、栄養指導業務功労受賞にあたり、ひとえに清水名誉会長をはじめ、北山会長のご指導の賜物と思っております。私が勤務している病院では高齢者が多く、最後まで笑顔で食事を自力摂取できるように声掛けし、また少しでも長く住み慣れた我が家で生活が出来るようフレイル予防の栄養指導にも力を入れています。今後も笑顔で安心感が持てるような栄養指導を心掛けていきます。  
倉内 真由美

この度は栄えある賞をいただき、光栄に思います。入院患者さまに喜んでいただける食事の提供と、患者さまとご家族に寄り添った栄養指導を心がけながら、職員一同努力しておりますが、今後もこの賞を励みに日々精進して参ります。  
杉田玄白記念公立小浜病院

錚々たる先生方とともに会長表彰受彰の栄誉に浴しましたことは、ひとえに福井県栄養士会、仁愛学園の皆様のご指導、お引き立てによるものと大変嬉しく有難く存じております。この度は表彰式も開催されず自分なりの実感はまだ湧いておりませんが、今後も栄養の発展に携わっていきけるよう精進を重ねて参ります。  
池田 涼子

学校栄養職員、栄養教諭とはどうあるべきかの答えを出せないまま25年が過ぎ、この度の受賞に恐縮する限りですが、子どもたちの心と体の成長と健康に少しでも貢献できるよう、今後とも精進してまいりたいと存じます。  
内田 まり子

今回このような賞をいただきありがとうございます。平成7年に就職し、現在に至るまで毎日地道に業務にあたる日々だったと思います。これからもコツコツと努力、精進していききたいと思います。  
大塚 万愉実

この度は会長表彰を頂き、誠にありがとうございます。勤続25年の受賞の知らせを頂き、改めてその歳月を実感いたしました。栄養士の職に就き、たくさんの方々から多くのことを教わり、様々な経験をさせていただきました。今の自分があるのはその方々のお陰だと思います。これからも人との縁を大事にして、仕事に頑張ってまいります。  
酒井 陽子

この度は、日本栄養士会会長表彰を賜り光栄に存じます。ご推薦くださいました福井県栄養士会に心より御礼申し上げます。今後とも一層の努力をいたす所存でございますので、変わらぬご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。  
佐々木真由美

今回は、会長賞を頂きまして誠に有難うございます。これからも研鑽を重ねて利用者の方々により良い支援が出来る様に努めて行きたいです。今後とも皆様のご支援を賜りたく思います。この度は本当に有難うございました。  
竹村 麻恵

今回、このような賞を頂きありがとうございます。ここまでこられたのも皆様のお陰と感謝致します。今後とも一層の努力をいたす覚悟でございますので、変わらぬご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。  
松田 圭子

この度は思いがけず会長表彰を賜り、誠に光栄に存じます。これもひとえに福井県栄養士会の諸先生方のご指導の賜物と感謝申し上げます。今後も「医食同源」の精神で県民の健康長寿に貢献できるように自己研鑽に努める所存です。  
山田 友香

## 令和2年度 植物油講演会

開催日：令和2年11月29日（日） 場所：福井商工会議所

コロナ禍で感染予防対策を行い、講師の先生方には会場で人数制限での講演と同時に、当会初のZoomを用いたオンライン形式の開催となりました。

### 「植物油の基礎知識」

（一社）日本植物油協会専務理事 齊藤 昭先生



植物油の摂取は、ここ100年世界的に増加傾向で、最近では日本でも菓子類やファーストフードなどで多く使用されるパーム油の消費が伸びている。わが国で唯一つくられる米油は学校給食に多く使用されている。日本の消費量はなたね油が多く、続いてパーム油。パーム油は飽和脂肪酸が多いが、飽和脂肪酸は半分程度であり残りは不飽和脂肪酸がある。最近の食生活の意識調査からは、油の摂取の仕方の意識が変わってきたこと、情報はインターネットから得ることが多く、油の認知度はごま油が一番高く、使用経験ではサラダ油、なたね油、オリーブ油、ごま油。えごま油や亜麻仁油は今後使いたい油として意識されているとのこと。最後においしい油を楽しく食しましょうと締めくくられました。

### 「植物油と健康」

お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系教授 藤原 葉子先生



脂質栄養の基礎、脂肪酸以外の油に含まれる微量成分、特に脂溶性ビタミンの最近の情報について詳しく話されました。生活習慣病の予防には食生活が大きく関与、その中で脂質はカロリーが高い栄養素として嫌われがちであるが必須の栄養素である。しかしながら過剰摂取は肥満を招き疾患のリスクとなる。最新の国民健康栄養調査では、特に若者を中心に魚離れが進み肉類を好む傾向にあり、動物性と植物性が半々であった油脂摂取量バランスが崩れ、年々脂質摂取量も増加傾向である。そのため健康を維持するためには摂取する脂肪の量と質が重要である。食事全体を含めた脂質摂取のバランスを考え、見える油（植物油）をどのように選ぶかが大事であると話されました。

### 「「油脂と健康」の最前線—錯綜する現状をどう理解すればよいのでしょうか—」

九州大学・熊本県立大学名誉教授 菅野 道廣先生



食事脂肪と健康、特に循環器疾患との関係を巡っては近年海外を中心に既成概念を覆す見解が出され混とんとした状況である。わが国では科学的根拠もなく特定の脂肪酸の健康効果を誇張し、ほかの脂肪酸を誹謗し、より自己の見解を目立たせようとする風潮が散見するなど情報が氾濫している。そのため世界でのデータ情報や極小データ情報を元に日本でのエビデンスが少ない中での出回る情報や安全性について紹介されました。他国では栄養の知識の情報元は栄養の専門家以外からの報告もある。今こそ専門家である管理栄養士が、科学的でかつ「おおらかな」視野からの栄養指導をやっていただきたい、と結ばれました。

## ● ● 新型コロナウイルス感染防止における実践活動報告(医療) ● ●

### 新型コロナウイルス感染症対策における栄養食事指導の取り組み

医療法人博俊会 春江病院 竹田 邦恵

当院では新型コロナウイルス感染症対策として、発熱者を院内に入れないよう当番制で各部署のスタッフが正面玄関にてトリアージを実施しています。スタッフも出勤前に必ず検温し定められた体温以上であれば出勤を見合わせることに決められました。外来では診療を行う上でどう対策を行うか、入院患者においても面会を含めどう対応していくかそれぞれでの検討が始まり、各部署が集まり対策会議が行われました。私たちは栄養食事指導の対応の仕方を考えることとなりました。対策会議では、直接患者さんと対面しなければならない部署はアクリル板を設置することが決められました。また、アクリル板を設置せずに対面する場合はフェイスシールドを使用することも付け加えられました。栄養相談室においてはアクリル板の設置と、密室になるため、換気できるよう扉は開放することとなりました。患者さんには扉を開放することについて指導前に説明し了承を得るようにしています。患者さんが出られた後はテーブルや椅子をアルコールタイプのウェットティッシュで清拭し、手指消毒をして終了となります。入院中の栄養食事指導についてですが、病棟は面会制限があるため、家族への指導は外来にて行うようにしました。集団栄養食事指導は、当面病棟をまたいで患者を集めることは控えるということでやらない方針となりました。新型コロナウイルスの流行が始まったころは患者さん自身の警戒心も強く、診療だけ済ませて速やかに帰宅したいと栄養食事指導を見合わせた方もみられました。当初は違和感のあったアクリル板とお互いマスク姿であることが、今では当たり前の光景となりました。慣れてきたからこそ今後も新型コロナウイルスのみならず、感染症対策としてより一層気を引き締めて取り組んでいきたいと思えます。



出入口の扉は開放



アクリル板を設置し指導を行う光景

## ・・ 新型コロナウイルス感染防止における実践活動報告(医療) ・・

### 新型コロナウイルス感染対策と栄養管理

JCHO福井勝山総合病院 山田 友香

当院は第二種感染症指定医療機関に指定されており、軽症から中等症の新型コロナウイルス感染症の患者様を受け入れる態勢が整っている。

通常どおり入院診療計画書から関わり、特別な栄養管理の必要性がある場合は栄養管理計画書を作成し栄養管理をすすめる。しかし一般病棟と大きく異なる点は、「患者様と直接触れ合わない」ということである。もちろん、完全なPPE(Personal Protective Equipment)を装着すれば可能ではあるが、院内感染対策として直接関わる職員を限定しているため、カルテ上食欲や摂取量、咀嚼嚥下状態などに問題があると、看護師と管理栄養士が相談して調整する。

食器は医師・看護師等とともに検討した。大量調理施設衛生管理マニュアルに沿った洗浄・熱風消毒を行えば一般病棟の食器と同じで問題はなかったが、動線を考慮して病室に運んだらそのまま破棄できるように使い捨ての食器を使用することになった。業務上運びやすいお弁当箱タイプも検討したが、「温かいものは温かく、冷たいもの冷たく、朝食にはホットとする汁物もこのような時だからこそ提供したい」という患者様に寄り添う思いから、写真のような容器を採用した。トレイも使い捨て



の発泡スチロール製で、通常よりも少し狭いが、食器を重ねて置くことができ意外に便利である。また、軽症から中等症の受け入れであることから、特別メニューを希望する声もあり、料理写真入りのパンフレットと申込用紙を入院時に配布する。水分摂取は重要と考え、非常食として備蓄している水を病院からサービスとして提供する。

常に情報の収集は必要と考え、重症患者様を受け入れておられる病院管理栄養士の講義をZoomで受けたが、コロナ感染重症患者様には下痢をする患者様の割合が多いらしく「酪酸菌やファイバーの有用性」について語られていた。アビガンには4.79%に下痢の副作用が出ると添付文書に示されている。免疫力の観点からも今後参考にしたい。

ちなみに一般病棟では管理栄養士はマスク装着、アルコール携帯必須、フェイスシールドを適宜装着して三密対策を行いながら通常どおりの栄養管理を行っている。

このように、あるべき栄養管理では邪道と言える感染対策のために「顔も見ずに栄養管理を行う」こともあるわけだが、時代の逆行ではなく基本を知らないとできない応用編として、今後も柔軟に対応していく力をつけていきたい。



## ・ 新型コロナウイルス感染防止における実践活動報告(学校健康教育) ・

越前町南条小学校 中村有加里  
福井木田小学校 上山 恵璃

3月からの急な休校措置を受け、学校給食の現場では、食材のキャンセルや保管等の対応に追われました。4・5月も在庫を考慮しながらの献立作成や発注、おたよりや書類作成等を行いました。再開されず食材をキャンセルする等の対応が続きました。休業期間中には、家庭での食生活についてや簡単レシピ等を掲載したおたよりを配布したり、ホームページを利用したりして、食に関する情報提供を行いました。

学校再開が決まり、給食も多くの市町で6月1日から再開することになりましたが、文科省から5月1日付けで「配膳の過程での感染防止のため、可能な限り品数の少ない献立（例えば、主菜と具沢山の汁物等）で適切な栄養摂取ができるようにすることや、可能な場合には給食調理場において弁当容器等に盛り付けて提供することなどの工夫が考えられる。」という通知が出されたこともあり、どのような献立にするとよいか頭を悩ませました。

再開時は、通常の献立よりも汁物等を減らすなど分けやすいものを中心とした献立にする、教職員で配膳できるよう2食器の献立にする、おにぎりとパック詰めのおかずの献立とする等、各市町や学校で状況に応じた感染防止を考慮した献立となりました。

献立内容以外でも、配膳や受け取り、おかわり、片付け等、様々な場面で今までとは違った対応が必要となってくるため、手順を定めたマニュアルや指導資料等を作成して、給食の再開に臨みました。

また、喫食時には、机を合わせない「スクール形式」に変更したり、ランチルームを利用する学校は、飛沫防止パネルを設置したりしました。これまでのように、友だちと会話をしながら食べることはできませんが、放送や映像等も活用することで、楽しそうに給食を食べる様子が見られています。

現在も様々な制限はありますが、2学期からは、県の「県産ブランド農林水産物を食べよう 学校給食応援事業」で、若狭牛やふくいサーモン、マダイなどの無償提供も始まり、感謝しながら給食をいただいています。

【配膳の様子例】



- ・ 給食当番の人数を減らし、アルコール消毒または使い捨て手袋を着用して配膳を行っている。
- ・ 受け取りも、間隔を開けている。

- ・ 煮物や炒め物を汁椀に入れる。
- ・ 個数付けのものや1食包装してあるものを活用する。
- ・ 栄養価が大きく損なわれないよう、1品の量を多くする。

【指導用プレゼン資料の一例】



【感染防止を考慮した献立例】



## ・・ 新型コロナウイルス感染防止における実践活動報告(教育研究) ・・

### 新型コロナウイルス感染拡大防止のための養成校の対応

仁愛大学人間生活学部健康栄養学科 池田 涼子

前期授業開始の延期、遠隔授業の導入、実験・実習科目を中心とした面接授業と遠隔授業の並行実施など刻々と変化する局面に応じた対応が求められるなか、最も影響を受けたのは臨地実習、教育実習といった学外で研鑽を積む貴重な機会となるべき科目でした。本年度の学外実習は受け入れ中止や実習期間の変更に伴い、教育の質の確保および安全面の保障といった観点から実習先の関係者様や担当教員による様々な調整や工夫を経て、実施に至りました。お力添えを頂きました先生方に改めて御礼申し上げますとともに、仁愛大学における実施内容を紹介します。

#### 「臨床栄養臨地実習」

佐藤 裕保

72名の学生について、3年次春休みおよび4年次夏休みに10日間の臨地実習をお願いしておりました。事態の拡大により、2月末日に実施中を含めすべての実習を延期することとなりました。延期日程および当初予定していたものを含め、4年次夏休みには11施設32名の受け入れをしていただきました。40名分の受け入れが不足したため、学内代替プログラムを編成し、北山会長をはじめとするご経験豊かな先生方、現場でご活躍中の先生方を外部講師として招聘し、無事終わることができました。

#### 「公衆栄養臨地実習」

三浦 努

県内の実習先6施設(計19名)には当初の計画通り臨地実習を引き受けていただきました。しかし、県外での実習を予定していた実習生などについては、施設での実習は困難となり、これに伴う代替プログラムとして外部講師の指導の下、事例検討やグループ討議を通して保健分野における栄養指導の実際について学内での5日間の対面実習を展開しました。

#### 「給食経営管理臨地実習」・「給食運営実習」

長岡 純子

給食運営実習では2~3月に予定していた76名中41名の校外実習を延期しました。9月に34名が校外実習をさせていただき、7名は学内代替プログラムで実習を実施しました。

給食経営管理臨地実習では、実施時期が給食運営実習の延期分と重なった結果、実習受入先が不足しました。このため実務経験が豊富な管理栄養士を外部講師として複数名招聘し、学内代替プログラムを実施しました。

厳しい状況下にもかかわらず実習受入や外部講師をご快諾くださいました関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

#### 「教職実践演習(栄養教育)」

細田 耕平

本年度の栄養教諭の教育実習は、文部科学省の通達や他の実習日程等を踏まえ、実習校とご相談のうえ、学校における実習時間の短縮、実習期間の変更を行った学校がありました。実習時間を短縮した学校においては、学生が自宅で研究授業の準備等に取り組みました。

しかし、変更の有無等に関わらず、どの実習校におきましても先生方の様々なご配慮と丁寧なご指導を頂戴し、例年と同様に学生が非常に多くのことを学ぶ機会をいただきました。この場をお借りし、深く御礼申し上げます。

## ・・ 新型コロナウイルス感染防止における実践活動報告(公衆衛生) ・・

### 乳幼児健診や離乳食教室、健康教室(介護予防教室等)における感染予防の取組み(あわら市)

あわら市健康長寿課 角谷 智子

あわら市子育て支援課 松田真佑佳

【経緯】 令和2年3月～5月：離乳食教室…中止、健診…延期、健康教室…中止

6月～：再開

#### 【感染対策】

- ・ 離乳食教室：申込制に変更し、離乳食の試食を中止し、かわりにフードモデル等で指導を実施。開催時間短縮のため、講義内容を集約。座席の配置も工夫。
- ・ 幼 児 健 診：受付時間をずらし、密集しないように案内。試食を中止し、資料を配布。希望者のみ個別相談を実施。
- ・ 健 康 教 室：人数制限、座席の配置、定期的な換気など3密対策を実施。検温、消毒等マニュアルに沿った感染症対策の実施。栄養講座に関しては、調理実習や試食は中止。

#### 【課題・展望等】

- ・ 試食を通して特に離乳食は食べさせ方など学ぶ部分が多いため、できないのが残念。また、開催時間の短縮により一方的な指導になる傾向がある。個別相談等で細やかな栄養指導ができるよう配慮していきたい。
- ・ 調理実習・試食の中止で、栄養関連教室の開催自体ができていない。代替の普及・啓発方法を検討していく必要がある。
- ・ 外出を控える特に高齢者などに対し、フレイル予防・低栄養予防対策など普及・啓発を行っていきたい。

### 「福井県認証 ふくい100彩(さい)ごはん」の取組み 福井県丹南健康福祉センター 田中 佳那子

県では、自然に健康になれる食環境の拡大を目指し、外食・中食・配食のヘルシーメニューを県独自の基準で認証し、「ふくい100彩(さい)ごはん」として普及する事業に取り組んでいます。人生100年時代に向けて、これまでの「ふくい健幸美食」を「ふくい100彩(さい)ごはん」として、さらなる拡大を目指すとともに、各事業者には、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を呼び掛け、ガイドラインを遵守している事業者へは「感染防止徹底宣言」ステッカーの掲示を依頼しています。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた「新しい生活様式」における栄養・食生活のポイント (<https://www.smartlife.mhlw.go.jp/common/pdf/plus1tool/reference.pdf>) の一つに、「配食サービスの上手な活用」が挙げられています。今年度、福井県栄養士会では県と協力して、希望のあった配食事業者に対して栄養面や調理方法等について個別支援を行い、不足しがちな栄養素がしっかりとれる健康支援型配食サービスの拡大を進め、感染症に負けない身体づくりを栄養面から支援していきます。



## ・・ 新型コロナウイルス感染防止における実践活動報告(地域活動) ・・

### 栄養ケアステーション事業「福井県民生協離乳食・幼児食教室」について

佐野 千世

令和2年度の離乳食教室は年間27回開催の予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により4～5月の4回が中止となった。6月からは制限付きで各施設において再開され、従来15組～20組の参加で、講義と調理実演（試食あり）、質問応答の75分間行うところ、各施設の設備に合わせた対応を行った。私が担当する志比口店では7月と9月に開催し、直接の参加は6組限定で試食無し、インスタグラムで開催の様子をライブ配信した。

会場の広さから安全性を考慮し、参加人数の制限、入り口での検温、手洗い、消毒を徹底した。インスタライブは1時間のくくりがあるため、それに合わせ内容を圧縮した。撮影はハーツキッズのスタッフがiPadを用いて行った。配信視聴者（※1）はリアルタイムでコメント欄から質問でき、実際の参加者と遜色ない環境で参加できた。赤ちゃんを連れて人混みに出たくないお母さん、または体調で参加ができないお母さんにとって、自宅で気軽に参加できたのは大きなメリットになったと思う。

ライブ配信をする中で難しかった点は、配信視聴者への声かけである。慣れないことで戸惑うことが多かった。また1時間と短い時間で説明と調理をし、伝えたいことを伝えられるよう時間配分を意識する必要があった。

コロナ禍だからといって赤ちゃんは成長を待ってくれない。子育てをしているお母さん達の不安や実践的な質問に答えるためにも、調理状況を配信し質問のやり取りが出来た事はとてもよかったと思う。同時に、コロナ禍でお母さん同士や人との交流の機会が少ない中、同じくらいの赤ちゃんをもつ者同士の不安や悩みを共有する場を提供する事はとても重要だと感じた。

私たちはお母さんや赤ちゃんが安心して参加できるより良い方法を模索し、来年度においてもこの事業を継続して実施していきたいと思う。

(※1) ライブ配信視聴者数は7月15人、9月26人



## ● ● 新型コロナウイルス感染防止における実践活動報告(福祉) ● ●

介護老親保健施設 鷺巣苑 石川 仁子

毎年、冬期間はインフルエンザや、ノロウイルスなどで感染対策を行ってきましたが、今年はその対策をさらに厳しくした状態のものが一年中続いている状況です。

入所者様のご家族にお会いすることができない。という期間が3カ月以上続き、また再開してもいろいろな制約付きでの面会、感染拡大地域からの来苑はお断りするようなことが現在も続いております。そのため当施設では、webを使った面会を行うため施設内のwi-fiが届くエリアを広げる工事を行いました。

何より施設内での行事が減り、季節の変化を感じたり、日々の楽しみが削られてしまうことが多くなってしまったため、栄養課では季節を感じるような菓子や、献立を今まで以上に取り入れ少し楽しんでいただくことを企画いたしました、写真のお弁当もその一つです。



また職員も月2回以上感染対応についての検討会を行い、また他県で起こった施設クラスターの事例をお聞きし、自治体が違うため対応に違いはあるとは思いますが、施設内での対応は同じなので、各主任が集まり感染マニュアルの見直しを行いました。

クラスターを起こした施設は、認知症の方々が多くおられる階で44名中37名の方が感染し、職員も12名の方が感染したそうです。亡くなられた方も3名おられました。その施設の困ったことと、それを受けて当施設の改善点の一部をお伝えします。

- ①認知症の感染者をうけ入れる施設、病院が少ない。(県や、保健所の指導を仰ぐ)
- ②軽症の方の搬送は自施設の車で行う。→搬送可能な車にパーテーションの設置
- ③必要な物資の配送の拒否 → 各業者に確認、受け渡し場所の確保
- ④ゴミ収集の拒否(産廃となる) → 産廃を置く場所の確保
- ⑤PCR検査で陰性になってからの退院ではないため、施設内でのさらなる感染の不安  
→ 検討中
- ⑥自宅に帰ることのできない職員の宿泊先の確保 → 検討中
- ⑦厨房内に感染したものが入り込まないように、すべての食器を使い捨て容器にした。→ 対応済み
- ⑧厨房職員が消毒作業に追われるため、調理済み食品を利用(2週間) → 検討中
- ⑨職員や、施設に対しての誹謗中傷がひどく、職員が疲弊してしまう。

クラスターを起こした施設は71日間、通常業務に戻ることができず、またさまざまな対応に莫大な費用がかかったようです。

感染しないことが一番の課題ですが、まずは初期対応、いかに迅速に対応するかでクラスターを防げるようです。

この状態はまだ来年も続くと思われます。まずは職員が疲弊しない体制をとることが肝要です。

## ● ● 新型コロナウイルス感染防止における実践活動報告(福祉) ● ●

### 新しい生活様式における認定こども園での取り組み

認定こども園 味真野保育園 玉村 美佳

子ども同士の関わりが多く、3密を避けることが難しいですが、安全にお子さまをお預かりするため、手洗いやうがいの徹底、定期的な換気や消毒のほか様々な工夫を行っております。

#### 「園児の予防対策」

- ①手洗いの励行・・・登園後、園庭や園外から保育室に戻ったとき、食事前・おやつ前に液体せっけんを用い、手洗いを実施します。手洗い後はペーパータオルを使い、電気分解生成の強酸性水・アルカリ水で洗浄、除菌をしたり、アルコール消毒したりしています。  
また、手洗いの順番待ちや整列の場所に立ち位置のマークをつけ、ソーシャルディスタンスをとる意識付けをしています。
- ②うがい・・・特に食事前に入念に行います。唾液や飛沫が飛びやすいうがいの時は、真ん中の水道を間引きし両端を使うようにします。また、蛇口に触れないで済むよう感知式センサーの水栓にかえ、接触感染予防をしています。
- ③こまめな換気や水分補給・・・定期的に10分ほど換気を行い、0歳から5歳児までこまめに水分補給が出来るよう心がけています。
- ④消毒・・・保育室の扉や手洗い場、トイレなど塩素系漂白剤を使い消毒します。
- ⑤園児への保健指導・・・咳エチケットやマスクの使い方、手洗いの重要性を改めて行います。  
また、栄養バランスの摂れた食事や運動をして健康な身体になることも大切だと話します。

#### 「食事の予防対策」

- ①業者への対応として、物品の受け渡しは限られた場所で行い、マスク着用、手指の消毒をしています。
- ②食事の時間には強酸性水・アルカリ水を使い、配膳台、園児用テーブルの洗浄・消毒を行い、使い捨て手袋を使用し、マスク着用した保育教諭が配膳します。
- ③食事やおやつを食べる時は、飛沫感染防止に透明のつい立てを使い、友達の間を見ながら食べています。テーブルに座る人数を減らしたり、対面を避けたりして食事をするように配慮しています。
- ④0.1歳児の食事介助では、唾液に直接触れる可能性が高くなるため、保育教諭等は手指の衛生管理を徹底に行い、複数の園児を同時に見る際には十分に注意をして介助します。

今後も子ども達を安全にお預かりするため、感染防止と食事の楽しさのバランスに配慮しながら引き続き感染予防に取り組んでまいります。



## 今後の研修会予定

詳しい内容はすでにご案内しておりますが、  
ホームページでもご確認ください。

### 令和2年度 在宅栄養管理指導研修センター運営委託業務研修会

場所：WEB 会議室ソフト (ZOOM) を用いて配信もしくは福井商工会議所 2F 会議

日程および研修会内容

<b>1 回目 終了</b> 令和3年1月9日(土) 14時～15時	「日本人の食事摂取基準 2020 の活用」 ～改定のポイントと現場での具体的な活用方法～ 講師：国立病院機構渋川医療センター 栄養管理室長 須永 将広 氏
<b>2 回目</b> 令和3年2月13日(土) 14時～15時	「高齢者の栄養管理、嚥下調整食分類の理解と実践(仮題)」 ～嚥下調整分類について正しく理解し、実践につなげる～ 講師：社会福祉法人恩賜財団 群馬県済生会前橋病院 栄養科主任 宮崎 純一 氏
<b>3 回目</b> 令和3年2月27日(土) 14時～15時	「在宅栄養管理のための微生物学(仮題)」 ～感染症に関する基本事項の整理と栄養管理のポイント～ 講師：仁愛大学人間生活学部 健康栄養科 准教授 野村 卓正 氏

### TNT-Geriatric for Dietitian (TNT-Geri-D)

高齢者栄養療法プログラムの e-ラーニング

	締切日	受講期間
<b>第1回 終了</b>	令和2年11月20日	令和2年12月～令和3年1月
<b>第2回</b>	令和3年2月20日	令和3年3月～令和3年4月
<b>第3回</b>	令和3年5月20日	令和3年6月～令和3年7月
<b>第4回</b>	令和3年8月20日	令和3年9月～令和3年10月

申込方法は申込書・受講承諾書を FAX(福井栄養士会事務局 0779-27-5999)にてお送りください。  
**申込書には受講料の振込みが確認できるものを必ず添付ください。**

プログラムなどの詳細は日本栄養士会ホームページにも掲載されています。

生涯教育単位 実務研修 高齢期の栄養管理(23-123)講義 4単位

# 令和2年度 賛助会員名簿

五十音順




春夏秋冬  
鮮度にこだわり  
食の喜びと幸せをお届けする

**株式会社アコス**  
FOOD COMMUNICATION

〒919-0301 福井県福井市下細江町第6号1番地  
TEL(0776)41-7400(代) FAX(0776)41-7401(代)

Eat Well, Live Well.





株式会社  
**石川コンピュータ・センター**  
お問い合わせ先 ☎ 076-268-8315



栄養管理システム  
HOSPITAL SOLUTION  
PC-栄養  
Version.4

献立・食数の管理からIT業務  
に至るまで強力サポート!

栄養・味を逃がさず艶やかな仕上がりを非加熱で実現  
おいしさ長持ち・ツヤ感向上・汁漏れ防止をこれ一品で  
ドリップをおさえる驚きの粉末



**プチドリップ®**

寒天のトップメーカー

**伊那食品工業株式会社**  
名古屋支店 / 愛知県小牧市小木東1-49 TEL:0568-75-6660



真心のこもった料理をより多くの皆様へ

**イフスコヘルスケア株式会社**  
医療・福祉施設等給食業務請負  
(医療関連サービスマーク認定・日本メディカル給食協会会員・ISO14001認証)

本社 〒530-0001 大阪市北区梅田三丁目3番20号  
福井事務所 〒910-0008 福井市中央3丁目3-21 福井中央ビル3階  
Tel(0776)97-8158 Fax(0776)97-8157  
ホームページ <http://www.ifsco-hc.co.jp>



「伝えたい」が「伝わる」  
栄養指導フードモデル

お問い合わせ  
ご注文は  
こちらまで

**いわさきグループ**  **0120-198-953**  
西日本株式会社いわさき / 東日本株式会社いわさき(フーズセンター)

**株式会社いわさき** 〒920-0848 金沢市京町32-22  
**金沢営業所** TEL:076-251-1418  
[www.foodmodel.com](http://www.foodmodel.com)

**大塚製薬株式会社 福井出張所**

〒910-0005 福井県福井市大手2-7-15  
明治安田生命福井ビル3階  
TEL(0776)26-3005(代表)  
FAX(0776)27-0590

鮮魚・冷凍魚の加工相談、取扱商品についてなど、お気軽にお問い合わせください。  
弊社 営業スタッフがお待ちしております。



ご注文・お問い合わせ 平日9:00~17:00  
**TEL. 076-259-1489**

 安心・安全・新鮮な  
業務用一・二次加工魚 **海幸フーズ**

食を通じて豊かな生活に貢献する

(株) 紙 安 (水産部門)  
(株) 紙安産業 (給食食材卸)  
(株) 紙安クッキング (食堂経営・給食サービス)

住所:金沢市西念4-16-1 TEL:076-233-1610



●業務用カット野菜&青果卸販売●  
●365日年中無休●

**光陽青果株式会社**  
Fruit and vegetable Dealer

〒910-0836 福井県福井市大和田1丁目101番地  
TEL 0776-53-1177 FAX 0776-53-1176  
http://www.koyo-seika.com/

業務用総合食品問屋

**塩田食品株式会社**

本社 〒918-8578 福井市円山1丁目405  
TEL: 0776-54-6767 FAX: 0776-54-6633

支店 〒914-0053 敦賀市舞崎町2丁目19-4  
TEL: 0770-25-1155 FAX: 0770-25-1239

業務・給食用食品

**サン食品株式会社** *Sun fair foods*

〒918-8161 福井市銚ヶ崎町25-58  
TEL(0776)38-3830番(代)  
FAX(0776)38-2985番  
URL ホームページ <http://www.sunsyokuhin.co.jp/>  
メールアドレス [info@sunsyokuhin.co.jp](mailto:info@sunsyokuhin.co.jp)

給食食器・耐熱食器 企画販売

**株式会社 下村漆器店**

住所: 福井県鯖江市片山町8-7  
TEL/FAX: 0778-65-0024

高齢者専門宅配弁当

**宅配クック123**

〒106-0063 大阪府吹田市江坂町1丁目17番26号  
エスプリ江坂ビル8階  
株式会社シニアライフクリエイト  
TEL: 06-6192-8101

**TERUMO**

Innovating at the Speed of Life

昨日より今日、今日より明日。  
テルモは、世界中の医療現場と、患者さんのために  
いっしょに走りまわります。新たな価値を創造しつづけます。

テルモ株式会社 [www.terumo.co.jp](http://www.terumo.co.jp)

よく眠った人には、かなわない。

**Lumone**

【西洋のびのびの  
工場見学】  
ぜひ見てほしい！  
↓  
【日本製】  
【国産】  
【安心】

TUK 東洋羽毛北信越販売所 北陸営業所 TEL 0120-365021

笑顔あふれる給食

**NAKANISHI**

業務用厨房機器総合メーカー  
株式会社 中西製缶所

〒910-0001 福井県福井市大和田1丁目101番地  
TEL 0776-53-1177 FAX 0776-53-1176  
〒914-0053 敦賀市舞崎町2丁目19-4  
TEL 0770-25-1155 FAX 0770-25-1239

病院・高齢者福祉施設のお食事のことならお任せください

お食事を通じて高齢者の皆さまに生きる喜びを

株式会社 **ナリコマ** エンタープライズ

金沢営業所  
〒920-0017 石川県金沢市諸江町下丁 59-1-003 号  
TEL.076-255-3810 FAX.076-255-3820

**NISSHIN oillio**

パーフェクトシリーズ  
トウフィールシリーズ

日清オイリオグループ(株)  
ウエルネス 食品営業部  
TEL03-3206-5636

使い易く、衛生的、働く人に喜ばれています。

ハセガワの木芯入り軽量まな板

**抗菌かるがる**

長谷川化学工業株式会社

〒276-0022 千葉県八千代市上高野1384-5  
TEL.(047)482-1001(代) <http://www.hasegawakagaku.co.jp/>





〒918-8231 福井県福井市問屋町4丁目1207  
TEL : 0776-24-0565  
URL : <http://www.focaltrust.co.jp>

日本調理機器株式会社 株式会社MOC産業株式会社 総合厨房設備・リフト設備設計施工  
トータルキッチンプラント・システム  
**畑中厨房株式会社**  
代表取締役 畑中 博  
〒918 福井市成和1丁目906 TEL(0776)24-1477 FAX(0776)22-3268  
HATANAKA CHUHO CO.,LTD.

消費者庁許可  
特定保健用食品  
Yakult  
乳酸菌 シロタ株  
400億個のチカラ  
※ヤクルトレディがお届けしています。  
[80ml]

福井ヤクルト販売株式会社

【お申し込み・お問い合わせ】 ☎0120-1-8960-3 (受付時間 9:00~17:00 土・日・祝日を除く)

業務用厨房機器 総合メーカー

**fujimak**

株式会社フジマック [www.fujimak.co.jp/](http://www.fujimak.co.jp/)  
福井営業所: 福井市和田東2-1527 Uビル1-B Tel.0776-27-5799



— 給食現場の環境を変える —  
次世代の給食システム

「食のこころ」大切に—  
フレック食品工業株式会社

本社 / 〒910-1293 福井県吉田郡永平寺町馬場岡 65-1-1  
TEL (0776) 63-3633 FAX (0776) 63-2788  
<http://fregg.jp>

**北陸電力株式会社**

新調理システム体験車  
「オーロラ号」

ご用命・お問い合わせは  
福井支店営業部営業担当  
TEL 0776-29-6982  
FAX 0776-29-6981



**meiji** 株式会社 明治



## 事務所メールアドレス変更のお知らせ メールアドレス未登録の会員への登録のお願い

会員の皆様には、ハガキや臨時号でお知らせしました通り、2020年6月9日より福井県栄養士会事務所のメールアドレスが [fukuei@nifty.com](mailto:fukuei@nifty.com) に変更となっております。

今後当会からの情報発信にメール配信を導入していく予定です。**メールアドレス未登録の会員の皆様には、登録をよろしくお願いいたします。**

## 福井県栄養士会に入会して共に活動しましょう!

(公社)福井県栄養士会は、管理栄養士・栄養士の皆様が職業倫理を遵守した業務を行っていくために必要な新しい情報、良き指導者、語り合える仲間を提供しています。

社会に貢献できる管理栄養士・栄養士を支援する専門職能団体である当会に、是非入会されますようご案内申し上げます。

### 令和3年度の新会員を募集しています

#### 1 会費

	既会員	新会員(再入会含む)
令和3年度会員費内訳		
福井県栄養士会入会金		1,000円
福井県栄養士会会費	8,000円	8,000円
日本栄養士会会費	6,500円	6,500円
合 計	14,500円	15,500円

#### 2 納入方法について

(1) 会費は年会費(4月～翌年3月)ですが、年度途中からの入会も可能です。下記の指定口座にお振り込みください。

- ① 郵便局 00760-1-29715
- ② 福井銀行 本店 0715691

(2) 次年度継続会費は、ハガキ様式のコンビニ専用振込書が日本栄養士会から送付されますので、お近くのコンビニから納めてください。(別途手数料は自己負担になります。)

(3) その他の方法での納入を希望される場合は、福井県栄養士会事務局にお問い合わせください。

#### 3 その他

##### (1) 会員証について

新会員の方には会費納入が確認され次第、日本栄養士会から会員証が「日本栄養士雑誌」に同封されて届きます。

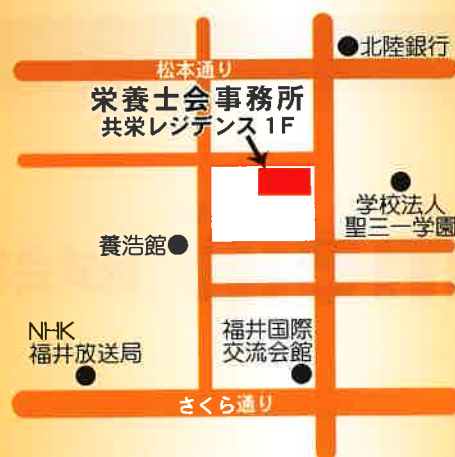
会員証を紛失、損傷した時、記載事項に変更があった場合は、福井県栄養士会事務局にご連絡してください。

##### (2) 個人情報の変更について

性、住所、勤務先等の個人情報の変更がある場合は、「会員登録事項変更届」(本会ホームページからダウンロードできます)にご記入の上、福井県栄養士会事務局にFAXで送信してください。

(FAX 0776-27-5999)

### 栄養士会事務所のご案内



業務曜日：月・火・木・金  
(定休日：水・土日祝祭日)  
業務時間：9:30～16:30

#### 栄養ふくい 10号

- 編集 (公社)福井県栄養士会  
情報コミュニケーション事業部  
加藤 みえ子  
天野 美鶴  
竹田 邦恵
- 印刷 マイプリントコーポレーション株式会社